

○宮古 NHK事業

(一社) 岩手県薬剤師会

「ウォーキングで心も体も元気！in 宮古」

日 時：平成24年4月29日（日・祝）

場 所：グリーンピア三陸宮古

参加者：宮古支部15名、盛岡支部3名、県薬2名

内 容：①おくすりなんでも相談 ～お薬手帳をつくろう！～

②生活習慣病予防にチャレンジ！（体脂肪測定、等）

③禁煙相談

④「おくすりガッテン！」クイズ



○気仙

仮設住宅訪問くすり相談

日 時：平成24年11月3日（土・祝）、
4日、10日（土）、11日（日）

場 所：大船渡市、陸前高田市、住田町
の仮設住宅

参加者：気仙支部（59名）
青森県薬（60名）
秋田県薬（24名）
東京都薬（31名）
奥州支部（9名）
一関支部（19名）、他（3名）

内 容：仮設住宅等入居時に配布した薬
セットの使用期限の確認（使用
期限切れの場合、回収）や薬の
管理方法についての確認を行う
とともに、その他健康に関する
相談応需

○釜石

仮設住宅団地での「お薬相談会」

高齢化率の高い釜石地域において、薬を正しく飲んでいない患者がいることが予想されること、仮設住宅に入居期間が長くなり閉じこもりがちな住民がいることから、仮設住宅団地の集会所に、薬剤師が出向いて相談会を実施することで、飲み忘れや飲み間違いの解決、受診促進に繋がることを期待して企画。

平成24年度は、釜石市から仮設住宅のイベント等を委託されている@リアスNPOサポートセンターの毎月のイベントに「お薬相談会」を組み入れて頂く形で実施。

- ①連携先と開催日時を協議
(釜石薬剤師会)
- ②配布資料や案内用資材を作成
(県薬剤師会)
- ③開催場所に出向き、地元薬剤師と一緒に相談会を実施
(花巻・北上薬剤師会)



○釜石 仮設住宅団地での「お薬相談会」

平日の昼過ぎに開催されることが多く、決して参加者が多いわけではないが、その分、個別の相談（一般的なものから、被災地域特有のものと思われるものまで）をうかがうことができ、細かいアドバイスができる。

【相談事例】

- ・ のみ忘れた時の対処の仕方
- ・ インスリン自己注射はいつ行えばよいか
- ・ 薬を服用する際、水の量は
- ・ 薬と食事の相互作用
- ・ 複数の点眼薬の使い方
- ・ 震災後、安定剤を飲まないで眠れない。
- ・ 空咳や夜のこむらがえりが気になるが副作用か？
- ・ 糖尿病の家族の食事について 等々

現地の世話人の方から「普段なかなか集まりに顔を出さない方も参加してくれた。薬のことで気になっていることがあったみたい。」という話もあり、平成25年度も継続実施することとし、今年度は、釜石市は釜石市サポートセンター、大槌町は大槌町社会福祉協議会と連携して進めている。